

認証木材 新国立で注目

環境配慮 各自治体、PR強化

伐採後に必ず植林するなど環境に配慮した林業と第三者機関が認める森林認証制度が注目されている。2020年東京五輪・パリンピックの主会場となる新国立競技場で、認証を得た国産材を使う方針が決まったためだ。企業が活用するケースも増えており、認証の取り組みを進めてきた各自治体はPRに力を入れている。

【松倉佑輔】



各自治体の森林認証に関する取り組み

静岡県	昨年11月に県森林認証推進協議会を設置。天竜材で著名な浜松市は五輪に向けてゼネコンなどへの売り込みを強化
山梨県 山梨県	県有林14.3万㌔を認証。五輪向けに優先して資材供給する仕組みを昨年9月に県が開始
北海道	全国の認証面積の半分以上の94.8万㌔を認証。昨年10月に普及セミナーを初めて実施

企業が活用している認証木材由来の製品

スターバックス	店舗での紙コップや紙袋
森永乳業	乳飲料「ピクニック」などのパック
ミニストップ	木造店舗の建築資材

32%増 目の多さ

政府観光局は16日、1月に日本を訪れた外国人旅行者が推計で前年同月比52・0%増の185万1800人だったと発表した。月間としては昨年7月（約

000人と続いた。中国は春節（旧正月）に伴う学校の休暇が1月にかかっていたこともあり、2015年1月の2倍以上となった。

また田村氏は「国際的に経済状況が不安定で、今年1年を判断するのは早計」と指摘。為替動向や減速懸念が出ている中国の景気を

注視する考えを示した。政府は、東京五輪・パリンピックの20年までの目標としてきた訪日客年間2000万

人について、16年中の達成を目指す。さらに安倍晋三首相が議長「観光ビジョン構想会議」で、目標の上方修正を検討している。

おり、新目標を誘致促進策とともに3月末までに打ち出す方針。20年に3000万人台とする案が浮上している。

意欲

「元氣な社
お客様を全力
ポートする会
作っていきま
社長交代発表
者会見で、昔

「新国立競技場は追い風だ」。強度に優れた天竜材として知られる杉やヒノキの産地である浜松市。静岡県内で森林5・6万㌔が認証されているが、県や林業団体は昨年11月、認証をさらに推進する協議会を設置した。その直後に新国立競技場のデザインが決まり、浜松市は市長が中心となって建設会社などに売り込みを図っている。

昨年10月に杉の森林が認証を取得した宮城県南三陸町も期待を高くしている。昨年9月に導入した。森林認証を積極的に

活用する企業も増えている。認証を取得した木材を使った製品は、認証マークを付けるなどして環境保護に取り組み姿勢を消費者にアピールできるためだ。

大手コーヒーチェーのスターバックスは紙袋、森永乳業は飲料容器に認証マーク付きで使っている。大手コンビニエンスストアのミニストップは平屋建ての新規店舗に認証木材を使っており、これまでに約140店を建設した。

初めての受注となる。シンガポールで開かれている航空見本市「シンガポール・エアショー」で三菱航空機の森本浩通社長が発表した。基本合意が確定すれば、受注機は計427機になる。森本社長は

MRJ 最大20機受注合意

【シンガポール共同】三菱航空機（愛知県豊山町）は16日、開発中の国産初のジェット旅客機MRJ（三菱リージョナルジェット）に

ついて、米リース会社「エアロリース」から最大20機を受注することで基本合意したと発表した。昨年11月に試験飛行に成功した後では、

Key Word

森林認証制度

環境に配慮した森林経営と第三者機関が認証する仕組み。自治体などの申請を受けて、貴重な動植物など生態系を破壊していないか▽伐採後の植林を計画的に実施するか▽従業員の安全が確保されているか——などを審査する。五輪でも2012年のロンドン大会から競技施設などで認証材を使うことが一般的となった。

世界自然保護基金（WWF）を中心に発足した国際組織「森林管理協議会（本部・ドイツ）」のほか、日本独自の組織として関係団体を中心に発足した「緑の循環認証会議」がそれぞれ第三者機関に認証を委託している。日本ではこれまでに計170万㌔の森林が認証された。消費者は製品にある認証マークで確認できる。